

R7年2月・3月実施 一般社団法人ライト牧場 自己評価結果

○環境・体制整備

- ・ライト牧場の特色である牧場活動を通して、利用者さんには四季折々の自然の中で動物達とのふれあいを楽しんでもらえていると思う。保護者アンケートからも牧場活動を楽しんでいたと回答をいただいた。
雪が降り除雪が大変な時もあったが、子ども達は牧場活動後の雪遊びを楽しみに活動にも励んでくれ、雪遊びも笑顔いっぱい楽しんでくれていた。

○業務改善

- ・牧場活動の工夫として、夕飼いの担当をその日ごとに振り分けて馬、ヤギ、ウサギとまんべんなく活動できるように工夫している。またペアで協力して取り組む大切さも支援している。
- ・長期休みには集団遊びでコミュニケーション面の支援や、ハロウィンやクリスマスなどのイベントには外部の方にもご協力をいただきみんなの楽しめる行事を計画した。
- ・第三者外部評価は実施できていない。

○適切な支援の提供

- ・毎日支援の振り返りを全職員で行い、次回の支援にどうつなげていくか打合せ会議を毎回行っている。日々の支援についても担当を決め、活動の記録、連絡帳の記入をしている。
- ・個別支援計画見直し月には、支援計画を基に全職員で評価・モニタリングを行い、会議をして利用者さんに合わせた支援計画の見直しを行っている。
- ・支援計画見直しの時期には親御様と面談をさせていただき、自宅での様子など伺い計画に反映し、次の支援につなげていった。面談時に、牧場で頑張ってお世話している様子を保護者の方から見学していただいた。実際に活動を見学出来て良かったです！と嬉しいお言葉もいただいた。

○関係機関や保護者との連携

- ・支援をするにあたり、対応に困る事や疑問があった時には、保護者の方、学校、相談員、他事業所に連絡し情報共有を行った。支援会議等には担当者が参加し情報共有を行った。
- ・保護者の方とは連絡帳を活用し、ご自宅での様子や、就寝・起床・朝の体温等を伺い活動の参考にして支援を進めた。事業所からはその日の活動の様子を記入し、体調の変化や確認が必要な時には保護者の方に直接連絡を取って確認を行った。
- ・今年度も保護者会が開催できなかったため、来年度はライト牧場10周年節目の年なので保護者会等を計画していきたい。

○保護者への説明責任等

- ・利用希望者さんと保護者の方には実際にお越しいたごき、施設見学や利用手続きなどの説明を管理者が行ない、契約時には重要事項説明書、契約書、支払い等についての説明を行った。
- ・書面に記入いただいた、個人情報施錠のできる場所に管理している。
- ・PCのデータ保存については、ロックのかかるPCを使用し管理している。

○非常時等の対応

- ・定期的に避難訓練を実施。実施したことの報告が行き届いていなかったため、来年度はしっかりと報告を行ってきたい。
- ・動画講座も活用し、定期的に研修を行った。虐待防止、やむを得ない場合の身体拘束について、日々振り返りをしながら支援を進めていった。
- ・今年度も感染予防に努めて支援を進めた。感染拡大時のスタッフのマスク着用、日々の検温、活動前後の手洗いの徹底、室内、車内の消毒、体調管理はもとより換気をこまめに行い、三密を避けて支援に努めた。事業所内で感染者が出ることなく支援が進められ良かった。

総評

・日々ライト牧場に来てくれた子ども達の笑顔のために、楽しんで活動してもらえるようにスタッフ一同振り返りをして支援を進めてきました。

地域の方との交流として、イベントごとには地域の方の力も借りながら活動を進めてしました。日々の連絡帳だけでなく活動報告や、避難訓練等の報告など保護者様に行き届かない点が多かったので、来年度はライト牧場通信を活用してお伝えしていきたいと思ひます。

来年度も保護者の方々、関係機関と連絡を密に取り合い利用者さんにより良い支援を提供していきたいです。

R7年2月実施 一般社団法人ライト牧場 代表理事 石塚美和子



2020年一般社団法人ライト牧場